

# 読んで調べて伝えよう！

～調べ学習からレポート・自由研究作成まで～

聴覚障がい 小学3年  
国語「自然のかくし絵」  
資料の活用・利用指導

ねらい

- 図書館で虫や生き物の「かくし絵・保護色」に関連した図書を探し出し、「生き物の身の隠し方」「保護色とは何か」について、正しく読み取る。
- 調べて分かったことや自分の考えを整理して、読む人に分かりやすく伝えられるようなレポートの構成を考える。

## 学 習 展 開

- ① 「かくし絵・保護色」とは何かについて、電子黒板を使用し、聴覚障がいを有する児童でも目で見て理解しやすいよう画像を用い、イメージをふくらませる。
- ② 図書館にて、司書教諭・司書とともに「かくし絵・保護色」について書かれている図書を探し(昆虫の本が4類であることも理解する)、ワークシートに記入する。
- ③ 調べたことを、さらに「調べて書こう、わたしのレポート」の単元に活用し、レポート作成へ繋げる。
- ④ 「観察する」・「本で調べる」手段を選択し、図書館に行き、再度調べた上でレポートを作成する。
- ⑤ レポートを作成し、児童自身も興味を持ち、夏休みの自由研究にて、より深く調べることへと発展させる。



①電子黒板を使用し、イメージをふくらませる。



②図書館で調べる



⑤自由研究の作成へ

## ★指導のポイント

- ◆ はじめに、「かくし絵・保護色」について、画像を使用し、教科書の内容を補助しておく。
- ◆ 自分が調べる内容をきちんと理解させ、「生きもの(4類)」の書架に辿りつけるよう導く。(困っている場合は、学校司書が支援する。)
- ◆ 本単元を後の単元「調べて書こう、わたしのレポート」に活用し、最終的に興味を持った部分を掘り下げ、理科の単元「夏休みの自由研究」に発展させた。

## ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 事前に学校司書は司書教諭と相談し、資料収集や資料の準備を行う。
- 司書教諭は、図書館内の図書を使い、事前に学習中の語彙(=「保護色」の説明など)を広げるための資料を作成する。
- 司書教諭は、児童の実態に合った調べ活動ができるようにワークシートの作成を行う。

## 資料

「自然のかくし絵」/矢島稔(偕成社)、「海の擬態生物」/伊藤勝敏(誠文堂新光社)、「むしたちのさくせん」/宮武頼夫(福音館)、「花になったカマキリ」/海野和男(新日本出版社)、「教科書に出てくる生きもの観察図鑑①昆虫」(学研教育出版)、「学校のまわりの生きものずかん」シリーズ(ポプラ社)他、昆虫について書かれている事典や4類の図書